

救急科専門医研修ネットワークプログラム (聖隷浜松病院)

1 はじめに

我々のプログラムは、聖隷浜松病院（救急・集中治療科）を基幹研修施設とし、静岡県内外の連携施設および関連施設からなる研修施設群を形成しています。基幹研修施設である聖隷浜松病院では、ER と ICU の両方を備えた研修が可能です。ER では病院全体の協力の下、1次～3次救急のすべてを受け入れています。また、救急・集中治療科はICU専従医も兼務しており、集中治療専門医の指導の下で集中治療の研修を行っています。ICUでは各科の専門医や多職種と連携を取りながら、重症患者の全身管理を学びます。

静岡県内の連携施設および関連施設としては、聖隷三方原病院（高度救命救急センター、ドクターヘリの基幹施設）、浜松医科大学附属病院（研究活動・教育活動や医療体制を見据えた救急医療）、藤枝市立総合病院（ECMO、ドクターカー）、静岡県立こども病院（小児救急診療、PICU診療）、順天堂大学医学部附属静岡病院（病院前診療）、さらに医師少数地域の連携施設として西伊豆健育会病院、磐田市立総合病院、中東遠総合医療センター、伊東市民病院、榛原総合病院、静岡済生会総合病院があり、静岡県内だけでも十分な研鑽を積むことが可能です。



プログラム責任者

聖隷浜松病院 救命救急センター長 兼 救急・集中治療科部長 土手 尚

2 目的

当科のミッションは『病院の総合力を活かして高水準の救急医療、集中治療を中心とした急性期の総合診療を提供することで地域医療体制に貢献する、同時に医師や他の医療職の教育とキャリア形成も担う、なおかつスタッフのワークライフインテグレーションを達成する』こととしています。

救急医、集中治療医としての個人技能の習得だけでなく、医療リソース（人材、薬剤、資機材など）のマネジメントする力も磨き、病院や地域全体に貢献できる人材を目指します。

他科研修の途中やその前後で「救急対応や重症患者管理に強くなりたい」と考えている方にもお勧めです。

3 専攻医受入数

各学年 4名

4 目標

専攻医1年目前半は指導医とともに診療を行い、ERやICUでの診療に慣れていただきます。専攻医1年目中盤からは到達度に応じて裁量を広げ、1年目後半にはICU夜勤の開始を目指します。

専攻医2年目から3年目には様々な臨床判断や後輩の指導を通じて知識や技術の定着を図りつつ、勤務帯のリーダー医師としてのマネジメントや、重症患者診療におけるコマンダー経験も増やしていきます。

5 特徴

聖隷浜松病院 救急・集中治療科の特徴は以下の通りです。

- 豊富な症例（年間救急搬送 約 7000 件、年間集中治療管理 約 1200 件、当科の入院担当 約 350 例）を専攻医 1 年目から最前線で経験し、指導医のサポートのもとで、臨床判断（EBM や臨床推論の定石から経験則まで）や手技を数多く経験することで、救急医としての early exposure（早期経験）を積みます。
- 専門医取得（救急科専門医、集中治療専門医）に必要な症例や手技の経験に困ることはありません。
- ER では 1 次～3 次まで全てに対応します。マイナーエマージェンシーから、重症外傷対応、ECPR のコマンダーまで幅広く経験できます。夕方には当日の ER 全症例を振り返り、ラーニングポイントを共有しています。
- ICU では救急症例（敗血症、外傷、熱傷、中毒、各内科疾患の重症例、緊急手術症例など）から予定手術後（心臓大血管手術、頭頸部腫瘍手術など）までを、By system（臓器毎のアセスメント）の思考に基づいて診療します。
- 救急医療や集中治療は超急性期～急性期の総合診療的な側面もあるため、救急・集中治療科の入院症例を通じて総合内科的な診療、高齢者診療、終末期医療、地域連携等も経験します。
- 各自の志向に応じ、院内の他科研修も調整します（IVR、麻酔科、外科、内科など）。
- 学術活動も積極的に行っており、毎年全国学会での発表や論文発表を行っています。臨床研究の実施も可能です。また病院の図書室機能が非常に充実しており、資料取得に困ることはありません。
- 各種資格取得、講習会参加のサポート（費用負担、勤務調整）もあります。ICLS、JATEC、FCCS のプロバイダー資格は全員が取得しており、インストラクター活動も支援します。
- ER、ICU の診療に役立つ情報共有（さまざまな tips や有用な文献など）は、チャットツール（Slack など）を活用し、該当症例があったときにタイムリーに行っています。

静岡県外も含めた連携施設は、下図の施設などがあります。静岡県西部地域では 3 施設（聖隷浜松病院、聖隷三方原病院、浜松医科大学医学部附属病院）がそれぞれに独自性を持った基幹プログラムを策定していますが、相互のプログラムが協力しあいながら教育が実施できるような体制がとられています。

6 研修期間・カリキュラム

研修期間は 3 年間です。研修スケジュールの例を下記に示します。特定の必修研修パターンは定めていないため、各自のニーズ（習得したい技能、経験したい施設、居住地など）に応じて調整します。

| | | |
|-----|--|--------------|
| 1年次 | 聖隷浜松病院 ER診療、ICU診療、一般病棟診療（救急・集中治療科入院例）12ヶ月 | |
| 2年次 | 聖隷浜松病院 ER診療、ICU診療、一般病棟診療（救急・集中治療科入院例）9ヶ月 | 連携施設① 3ヶ月 |
| 3年次 | 聖隷浜松病院 ER診療、ICU診療、一般病棟診療（救急・集中治療科入院例）9ヶ月 | 連携施設② 3ヶ月 |

7 研修病院群

連携施設： 聖隷三方原病院、浜松医科大学医学部附属病院、神戸市立医療センター中央市民病院、千葉ろうさい病院、日本医科大学付属病院、静岡済生会総合病院、静岡県立こども病院、鹿児島県立大島病院、日本赤十字社医療センター、一宮西病院、藤枝市立総合病院、札幌東徳洲会病院、聖マリアンナ医科大学病院、ひたちなか総合病院

関連施設： 西伊豆健育会病院

8 問い合わせ先

総合病院聖隷浜松病院 人材育成センター E-mail: hm-kenshu@sis.seirei.or.jp
TEL 053-474-2261 FAX 053-474-2262

9 「静岡県キャリア形成プログラム」における取扱い

(1) サブスペシャリティ領域、プログラムリーダー

救急・集中治療科 土手 尚

(2) キャリア形成プログラム受入見込み数

2名

(3) 具体的なコース

後期研修、後期研修後の7年間のうち4年間は医師少数区域または医師少数スポットで勤務

| 初期研修 | 後期（専門）研修 | 後期（専門）研修後 |
|------|--|---------------------------|
| 2年 | 3年 | 4年 |
| 県内病院 | 【基幹病院】 聖隷浜松病院（2年6ヶ月間） 【連携病院】 (4)に記載の医療機関 (各3～6ヶ月間、2カ所) | 聖隷浜松病院および、 (4)に記載の医療機関 |

(4) 勤務する医療機関

| 二次医療圏 | 後期（専門）研修 | 後期（専門）研修後 |
|-------|----------------------------------|------------------------------|
| 賀 茂 | 西伊豆健育会病院 | 西伊豆健育会病院 |
| 熱海伊東 | 伊東市民病院 | 伊東市民病院 |
| 駿東田方 | | |
| 富 士 | | |
| 静 岡 | 静岡県立こども病院、 <u>静岡済生会総合病院</u> | 静岡済生会総合病院 |
| 志太榛原 | 榛原総合病院 | 榛原総合病院 |
| 中東遠 | 磐田市立総合病院、 <u>中東遠総合医療センター</u> | 磐田市立総合病院、 <u>中東遠総合医療センター</u> |
| 西 部 | 聖隷浜松病院、聖隷三方原病院、 浜松医科大学医学部附属病院 | 聖隷浜松病院 |

※下線は、医師少数区域、医師少数スポットに所在する病院

(5) 取得できる資格

救急科専門医、集中治療科専門医（救急科専門医取得後）、救急 IVR 認定医（同左）。

(6) 問い合わせ先

8を参照ください